

スマートコミュニティ：50戸のうち7戸、認定要件合わず一生駒

毎日新聞 2013年03月14日 地方版

1戸原則100万円を上限に事業者に交付する生駒市の「スマートコミュニティ推進奨励金交付要綱」の第1号認定地の分譲住宅50戸のうち、太陽光発電設備など認定要件に合う住宅は43戸にとどまることが、13日の市議会予算審査特別委員会で明らかになった。昨年11月の認定前に分譲された10戸中7戸は施設整備の協力が得られなかったという。

市は13年度一般会計予算案に50戸分5000万円を計上しているが、山下真市長は「予算執行で7戸分を減額する」としている。

要綱では、適用地域は50戸以上の一戸建て住宅地を原則として示し、認定要件として、対象地域全戸への太陽光発電設備などを挙げている。しかし、市長が「やむを得ないと認めるもの」については「要件の一部を適用しないことができる」とも規定している。【熊谷仁志】